

登録建築大工 基幹技能者講習

埼玉会場
開催



【日程】11月8日(金)、9日(土)「2日間講習」

9:30～17:00(受付開始9:15)

【会場】大宮ソニックシティ(602・603会議室)

【定員】90人【受講料】44,000円

注) お弁当代は受講料に含まれています(当日、飲食類の持込はできません)

お申し込みは、所属の埼玉土建支部窓口へ!

【受講資格】下記の①～③の要件を満たすこと

①建築大工として就業経験10年以上、②職長(棟梁)経験が3年以上、③職長・安全衛生責任者能力向上教育を原則とし、加えて下記のいずれかの資格を持つ者

- 1級建築大工技能士
- 枠組建築技能士
- 1級建築施工管理技士
- 2級建築施工管理技士
- 一級建築士
- 二級建築士
- 木造建築士
- プレハブ建築マイスター

『登録基幹技能者』とは?

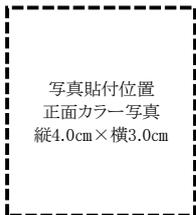
登録機関技能者は、熟達した作業能力、豊富な知識、現場を効率的にまとめるマネジメント能力を備え、専門工事業団体の資格認定を受けた技能者で、工事の品質・コスト・安全等への貢献とともに、技能労働者の目標像としての活躍が期待されています。さらに、認定されると、経営事項審査においても評価対象となります。

また、建設キャリアアップシステム(CCUS)を活用した建設技能者の能力評価制度で、レベル4(最高位)が取得できる資格でもあります。



【主催】一般社団法人

全建総連建設技能者キャリアアップ支援協会



登録建築大工基幹技能者講習

受講申込書

受講日		受講会場	
-----	--	------	--

受講者	ふりがな			
	氏名	⑩ 男・女		
	ふりがな			
	現住所	〒		
	生年月日	年 月 日	年齢	歳
	電話番号		FAX番号	
	E-mail			
勤務先	ふりがな			
	会社名			
	ふりがな			
	住所	〒		
	電話番号		FAX番号	
受講票・講習修了証の送付先（いずれかに○印）		自宅・勤務先		
受講要件	1. 一級建築大工技能士 2. 枠組壁建築技能士 3. 一級建築施工管理技士 4. 二級建築施工管理技士 5. 一級建築士 6. 二級建築士 7. 木造建築士 8. プレハブ建築マイスター			
受講資格	建築大工工事に係る実務経験年数	年	建築大工工事に係る実務経験年数のうち職長経験年数	年
	（実務経験証明書、保有資格の合格証の写しを添付）			
所属団体	JBN・全建総連・住活協・全建連・2×4・木住協・ログ協・プレ協 その他（ ）			

◆記入上の注意

1. 受講要件については、保有する資格の番号（複数の場合は複数）に○印を付し、いずれかの合格証の写しを添付して下さい。今年度合格して合格証が届いていない場合は、合格通知ハガキの写しを添付して下さい。
2. 年数は西暦で記載して下さい。
3. 複数の団体に所属している場合は、それぞれに○を付して下さい。
4. 受講料の収納を証明する、銀行振込又は郵便振替の受領証の写しを添付して下さい。

受付印	受付番号	入金確認・書類確認	通知	受講番号

写真貼付台帳

裏面に名前を
記入してください
写真サイズは
3cm×4cm

裏面に名前を
記入してください
写真サイズは
3cm×4cm

裏面に名前を
記入してください
写真サイズは
3cm×4cm

※写真は全貼付とせず、裏返しにして
セロハンテープで仮止めをしてください

領収書の添付について

書記局領収書は必ずコピーして添付してください。

※この講習は、人材開発支援助成金・建設労働者技能実習コースに対応しています。

活用する方は、下記のチェックボックスにチェックをしてください。また、実施機関名が入っている領収書は、後日支部を通してお渡しします。なお、埼玉土建で発行した領収書と引き換えになりますので、必ず無くさずに保管してください。

ご質問等は、所属支部までご連絡下さい。

人材開発支援助成金を活用する

支部名

受講者名

実務経験証明書

下記の建築大工工事業に係る受講申請者の実務経験の内容は、下記の通りであることを証明します。

証 明 者	
所属企業名	会社印
代表者氏名	役職印

年 月 日

受講申請者の氏名		証明者との関係	
受講申請者の生年月日	年 月 日	建築大工の実務経験年数	年 月

受講資格に係る実務経験の内容

職 長 欄	実務経験の内容	作 業 内 容	実務経験年数
			～ 年 月 (年 月)
			～ 年 月 (年 月)
			～ 年 月 (年 月)
			～ 年 月 (年 月)
			～ 年 月 (年 月)
			～ 年 月 (年 月)
			～ 年 月 (年 月)
			～ 年 月 (年 月)
			実務経験年数合計 年 月
			うち職長経験 年 月

※裏面に記入例、並びに記入上の注意を記載しています。

誓約欄

この証明事項が事実と相違無いことを誓約いたします。

氏名	印
----	---

裏

◆記入上の注意

1. 実務経験の証明者は事業主とします。ただし、事業主が証明できない場合は、当該経験を証明できる立場の者（当該経験に係る上位の下請）の証明書とします。
申請者が事業主や一人親方の場合は、誓約欄に署名・捺印してください。その上で、職長教育
2. 修了証、又は事業主以外の元請の建設業者等による証明書（任意書式）の写しを添付してください。
3. 証明者との関係は「社長と従業員」の様に記入してください。
4. 職長として従事した期間は職長欄に「職長」と記入してください。

但し、住宅建設を中心とした現場及び中大規模の建物を建設する現場における職長（立場）の扱いは、それぞれ次のとおりとします。

- (1) 住宅建設を中心とした現場における職長（職長を棟梁と読み替える。）とは、以下の能力を持った技能者とします。
 - ・建築大工工事に關する一連の作業が正確に手戻りなくできる熟練技能を持つ技能者。
 - ・現場監督が気付かない現場の問題点を指摘するなど工法や技術等について現場監督と協議し、作業手順を組立て、見習い・中堅技能者を統率し、的確な指示・調整等を行うことのできる技能者。
 - ・必要な資材の検討や工期管理ができ、他の職方と段取りの調整ができる技能者。
 - (2) 中大規模の建物を建設する現場における職長とは、総合建設業の基で下請となる他の専門工事業と同様に、現場毎に職長としての能力・役割を持ち、工務店等により建設キャリアアップシステムに入力された技能者とします。
5. 実務経験・作業内容は所属会社・職位ごとの内容を記入してください。

◆記入例

職 長 欄	実 務 経 験 の 内 容	作 業 内 容	実務経験年数	
	住宅建築工事	木工事作業	2000年 4月 ～ 2007年 3月	(7年 0ヶ月)
	住宅建築工事	木工事作業	2007年 4月 ～ 2012年 3月	(5年 0ヶ月)
職長	住宅建築工事	木工事作業	2012年 4月 ～ 2018年 3月	(6年 0ヶ月)
			～ 年 月 年 月	(年 ヶ月)
			実務経験年数合計	18年 0ヶ月
			うち職長経験	6年 0ヶ月

申請者が事業主や一人親方の場合は、実務経験証明書に職長教育修了証、又は事業主以外の元請の建設業者等による本証明書の写しを添付してください。

受講申請者の氏名	
勤務先	
証明者との関係	

別添の、登録建築大工基幹技能者講習の受講申込に係る様式第1号「実務経験証明書」について、記載の通りであることを証明します。

年 月 日

証明者

所属企業名

会社印

代表者氏名

役職印